

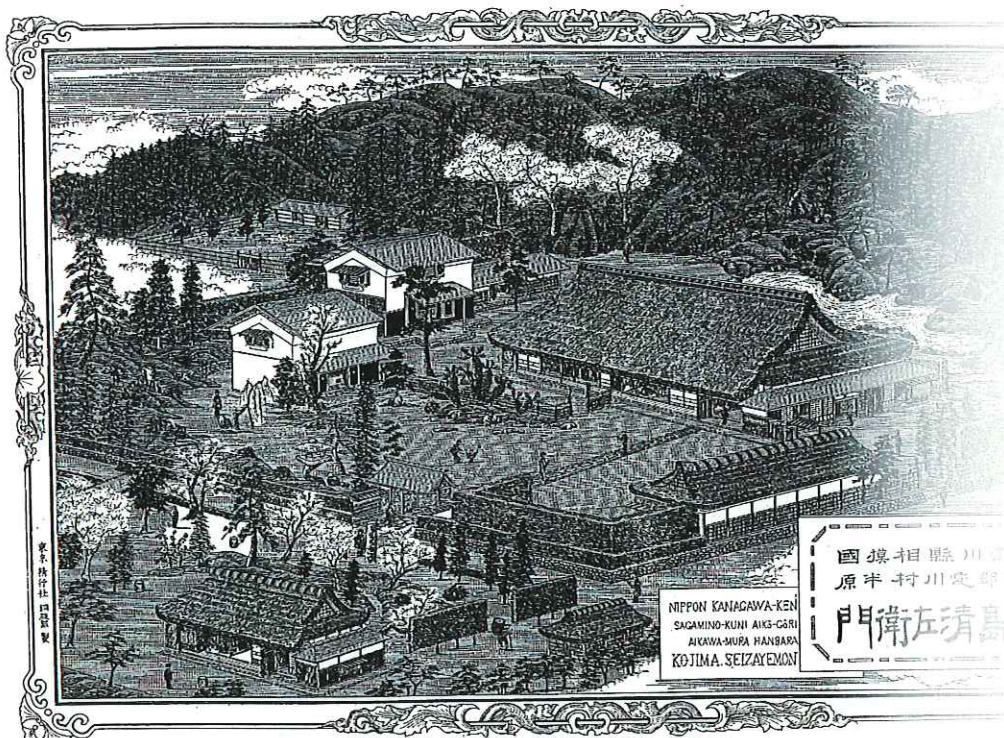
# 関東地方の屋敷林

不破正仁（東北工業大学講師） 著

地域ごとの樹木資源と人々の営みが作り上げ、農村における居住環境を支える要素である「屋敷林」。この「屋敷林」について通時的かつ詳細に分析し、現存する文化的景観の解明・評価の一助となるべく著された気鋭の論集。

A5判上製函入 口絵二頁 本文三四四頁 挿図一八〇点 本体価一一、〇〇〇円＋税

ISBN978-4-8055-0748-3 C3052



銅版画（明治27年〔1894〕『日本博覧図』第10編）



茨城県中部（イグネと茅葺民家）

「屋敷林」を屋敷背後の大本群にとどまらず、屋敷周囲の景観を構成する樹木要素と広義に把握し、約一二〇年前の明治期に作成された関東各地の屋敷が描かれた銅版画一一七点を詳細に検討、さらに残された景観を調査しその現状を記録し直すことで、過去と現在の様子とを通時的に分析した、景観保全の指針ともなる独創的な研究成果。

## 目次

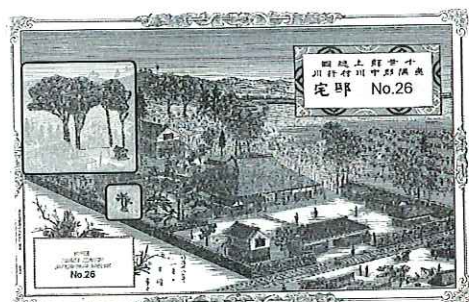
|                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 序                     | 第一章 生活・生業の一要素としての屋敷林  |
|                       | 第一節 屋敷林の主要な研究史        |
|                       | 第二節 屋敷林の構成要素とその原型への視座 |
| 第二章 明治期関東地方の屋敷林       |                       |
| 第一節 明治期の邸宅を描いた銅版画     |                       |
| 第二節 銅版画に描かれる屋敷林       |                       |
| 第三節 明治期屋敷林の地域特性       |                       |
| 第三章 関東平野北部の屋敷林        |                       |
| 第一節 北方系屋敷林の復元的考察      |                       |
| 第二節 北方系屋敷林の変容過程       |                       |
| 第四章 関東南部太平洋沿岸の屋敷林     |                       |
| 第一節 南方系屋敷林の復元的考察      |                       |
| 第二節 南方系屋敷林の変容過程       |                       |
| 第五章 関東平野中部の屋敷林        |                       |
| 第一節 明治期の関東地方中部の屋敷林    |                       |
| 第二節 関東地方中部の屋敷林の災態     |                       |
| 終章                    |                       |
| 第一節 屋敷林の原型とその変容過程の特質  |                       |
| 第二節 屋敷林の理解の枠組みとその位置づけ |                       |
| 第三節 屋敷林保全の概念的モデル      |                       |
| 参考文献／成稿一覧／あとがき        |                       |

## 著者略歴

不破 正仁 (ふわ・まさひと)

1976年東京に生まれる。2010年、筑波大学大学院システム情報工学研究科博士後期課程社会システム・マネジメント専攻修了、博士(工学)。筑波大学大学院システム情報工学研究科博士特別研究員、神戸芸術工科大学助手を経て、現在、東北工業大学工学部建築学科講師。

主な著書(調査報告書)にいずれも共著で、『真壁の町並み』(伝統的建造物群保存対策調査報告書、2006年)、『三木の町並み』(2013年)ほか。



No.26 銅版画 (明治29年[1896])



No.26 邸現状写真 (筆者撮影[2008]) いずれも第四章より

## 中央公論美術出版 既刊書

### 歴史と文化の町並み事典 文化庁編

B5判カバー装 本文276頁オールカラー  
定価3,780円(本体3,600円+税)

妻籠宿(長野県)、白川村(岐阜県)、川越(埼玉県)……重要伝統的建造物群保存地区として国が選定した全国109地区の町並み・集落を全て紹介する決定版事典。豊富なカラー写真・図版とともに、文化庁文化財部が各地区の歴史と文化、風土を詳細かつ丁寧に紹介する。伝統的建造物群保存地区制度40周年 記念出版!

ISBN978-4-8055-0742-1

### 近世民家普請と資源保全 中村琢己著

A5判上製函入・本文320頁・図版150点  
定価10,800円(本体10,000円+税)

江戸時代において、民家は建てられた後にどのような生涯を辿ったのか、当時の社会化された建築生産の仕組みは何か、古材リサイクルやメンテナンスなど資源保全から近世の民家普請を解明、木造建築である民家の独特なその生涯像を浮かび上がらせて、長期継続的な建築の存続を支えた当時の「建築に対する生命観」を提示する。

ISBN978-4-8055-0730-8

## 中央公論美術出版

お取扱いは

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-10-1 IVYビル6F  
TEL 03-5577-4797 FAX 03-5577-4798  
HP <http://www.chukobi.co.jp/>